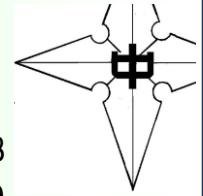


南浦和中だより



〒336-0026 さいたま市南区辻 6-1-33

TEL 048(863)0753

FAX 048(836)1589

さわやか相談室直通

TEL 048(837)5909

『クリスマスキャロルの頃には』

校長 おお ころ うち のり かず 大河内 範一

私は昔から整理整頓が上手ではなかった。現在は家族が皆、忙しいという理由もあるのだが、平日は家の中が散らかり続け、リビングテーブルの上もどんどん荷物で埋まっていく。休日になって、ようやく片付けができた時に、テーブルの色を再確認することができる。気分がちょっとスッキリする瞬間でもある。

冬のネクタイシーズンもまた問題だ。帰宅してネクタイを外した時に、さっさと掛ければいいものを、床やベッドの片隅についついポンと置いてしまうのだ。週末にいざ片付けようとネクタイがある場所を見てみると、とぐろを巻いていて「ヘビの巣」のようになっていることがよくある。

以前、思い立って『断捨離』や『片付けの魔法』というような「整理整頓マニュアル本」を片っ端から大量に購入し、この状況を打破しようとしたことがあった。しかしながら、その決意もあつという間に崩れ、何一つ改善されなかった。それどころか、ふと床を見渡すと、これらの整理整頓本がそこら中に散乱し、部屋が散らかる原因になっていた。我ながらちょっと情けない気持ちになってしまった。

小動物のリスは、餌となるドングリを集め、穴を掘ってきちんとしまうことができる。これを「貯食行動」といい、私と違って立派な行為に見えるのだが、リスは隠した餌のことをすっかり忘れ、どこにあるのか分からなくなってしまふのだ。しかし、このドングリから新芽が出て、やがて木となり、またリスたちの餌が作られる。そして最後は森林が形成されるという、実に壮大なストーリーになっていくのである。

その昔、絵本で読んだ『ノンタン』シリーズに、片付けをテーマにした作品があった。主人公の猫・ノンタンは友達の家で散らかしても、そのままやりっぱなし。「片付けてよ」と言われても逃げてしまう。しかし最後は「お部屋は汚れているより、きれいなほうが、気持ちがいいね！」という心境になる様子が描かれている。「さっさか、さっさか、ほいさっさ！」という、掃除をしている時の楽しげな掛け声が印象的だった。この掛け声をつぶやけば、私たちも何歳なっても意欲が高まるのかもしれない。

「掃除道具は色で選ぶとよい」という記事を読んだことがある。色を感じることでやる気を高め、効率を上げることができるとのこと。黙々と掃除するなら「グレーや黒」、楽しく掃除するなら「黄色やオレンジ」、バランスよく掃除するなら「緑」、短時間にパッと掃除するなら「赤」、コツコツ掃除するなら「茶色」などなど…。

さて、今年もあと1ヶ月。クリスマスキャロルが流れる頃までに、自分の身の回りを整理整頓し、さらに心もしっかり整えることをお勧めしたい。来年がさらによい年になるように、私もまずは散らかっている校長室の机の上から片付けることにする。